

## 障がい者雇用促進を

### 室蘭事業所対象に研修会

室蘭市内の企業向けに障がい者雇用の促進に役立ててもらおうと、市が主催する研修会「障がい者雇用のススメ」が輪西町の市民会館であった。参加者が道内や西胆振の障がい者雇用状況などに理解を深めた。

2021年度（令和3年度）市障がい者理解促進事業の一環。18事業所から65人が参加した。初めに室蘭公共職業安定所の専門援助部門の佐藤恭子さんが「障がい者雇用の制度と状況」と題し講話を行った。

佐藤さんによると、20年8月1日現在、西胆振で雇用される障がい者数は、3



障がい者の雇用について理解を深めた研修会

48人で前年比10.3%増。実雇用率は2.13%で、前年より0.19%上昇して雇用量ともに過去最高を更新。法定雇用率達成企業の割合は、99企業中47企業が47.5%。道内の達成割

合は50.9%、全国は48.6%だった。

「道内では障がいがある人は年々増加傾向にあり、（人口の）10人に1人は何らかの障がいがある」と雇用就業に対する必要性を強調。道内のハローワークの障がい種別就職件数によると、ここ10年ほどで精神障がい者の件数が6倍ほど増え、全体の半数近くを占めている。「室蘭でも同様の傾向」と続けた。

胆振日高障がい者就業・生活支援センター長の山本ひとみさんが「障がい者雇用の支援と連携」と題し説明した。

（奥村憲史）